

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

シーズ育成タイプ 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR193B
採 択 年 度	: 2019 年度
分 野	: 第 3 分野
研究開発課題名	: ガラス代替を可能にする透明樹脂フィルムのロール／ロールスパッタ生産技術開発
プロジェクトリーダー 所 属 機 関	: リケンテクノス株式会社
研 究 責 任 者	: 多賀 康訓(中部大学)

評価結果の総合所見

本テーマは、多機能薄膜をロール／ロール連続加工で付与した耐候性、超硬度、撥水性、高透明性を併せ持つ「ガラス代替を可能にする透明樹脂」を開発するものである。

一定の成果は得られているが、実用化に向けては課題が残った。今後の取り組み次第ではイノベーション創出の可能性がある。

機能性透明表面保護膜の連続ロール成膜技術に関するノウハウが蓄積され、焼結温度の低温化にも目処をつけたことは評価できる。一方、より多角的な物性評価を通じて機能や耐候性発現の本質的メカニズムを明確にし、そのフィードバックによるさらなる最適化につなげるサイクルをしっかりと構築した上で、最初のキラーアプリケーションを明確化することが必要と思われる。

以上